

せと 市議会だより

令和5年6月定例会

105号

令和5年8月号



特集 P.2-3 川本市長が提案したごみ袋値上げ“凍結案”
の賛否は!?



川本市長が提案した ごみ袋値上げ“凍結案”の賛否は!?



議案質疑 6月21日 本会議

Q 市議の質問 A 市長の回答

ごみ袋値上げ凍結に伴う条例改正案に、5人の議員が質疑

Q ごみ処理手数料について、販売価格の中に市の手数料収益が含まれているが、有料化を容認し、販売単価の減額改正議案と解釈するが、その理解でよいか。

A 減額改正議案であると考えている。私は、基本的に有料化制度そのものに反対しているわけではない。

Q 瀬戸市一般廃棄物処理基本計画において、令和5年度までに、総ごみ排出量36,000t、1人1日の家庭系ごみ量を483gにするとしているが、ごみ手数料引き下げは、目標値を達成できる施策と捉えているのか。

A 計画期間に目標を達成することはかなり難しいと考えているが、今回、新聞やテレビに大きく取り上げられ、より関心が高まっているため、議論を深め、推移をみていきたい。

※議案質疑や討論の全文は、YouTube議会中継の動画でご覧ください。

Q 市長はごみ有料化に関して、尾張旭市・長久手市と3市の足並みを揃える必要があると発言しているが、何を基準として捉えているのか。

A 市民の皆さんから、同じ施設で処理しているのに、なぜ瀬戸市だけこのタイミングで値上げなのかという不公平感の解消が必要であると考えている。

Q 本市が目標としている、一人一日当たりの家庭系ごみ量483g/人・日をどのように評価し、その評価は令和4年3月時点と変わっているのか。

A ごみ量については、令和4年の速報値で523g/人・日となっており、少しずつごみ減量が進んでいる。また、令和4年3月時点では、一定程度減ることを見込んでおり、想定が大きく変わったというわけではない。

Q ごみ袋値上げは凍結していくということだが、今後の動向によっては再び値上げということも想定されているのか。

A ごみ減量が何よりも重要で、減量が進まないならば、適切な手数料額の設定をしなければならないものと考えている。

第35号議案

瀬戸市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について

燃えるごみ袋の価格を、45リットル1枚50円から18円などに戻す条例改正案が、6月定例会に上程され、本会議での議案質疑、総務生活委員会での審査、本会議最終日での討論を経て採決が行われ、「賛成13人」で可決されました。

今回の特集は、第35号議案の白熱した本会議での議案質疑と討論の内容をお伝えします。



燃えるごみ袋

50円 ▶▶▶ 18円

賛成討論

討論

7月4日 本会議最終日

反対討論

長江幸議員

- ◆ 市民への丁寧な説明、啓発、周知徹底による意識改革、行動変容によりさらにごみ減量が進むことを確信している。
- ◆ 今後も、エネルギー価格や食料品価格の値上げが見込まれており、この時にごみ袋を値上げするのはいかがなものかと考える。

浅井寿美議員

- ◆ 物価高騰が止まらない中、必ず買わなければならないごみ袋の行政による3倍の値上げに道理はない。
- ◆ 値上げありきの減量政策では、市民の前向きな資源分別やごみ減量の行動変容は起こせない。分別の後押し施策こそ必要。

松原大介議員

- ◆ 分別が進んだことによる値上げストップは市民の納得感に繋がる。今後前向きにごみ減量に取り組める。
- ◆ 値上げ前に、そもそもの目的であるごみ減量ができてきているので推移を見る。これは自然な話である。

颯田季央議員

- ◆ 不明確な計画・数値しか提示されなかったため、無計画、準備不足が明らかであり、市民生活に関わる計画変更・予算の使用は賛同できない。
- ◆ 値下げは効果的な行動変容アプローチではないため、現在、分別をしている人がなくなる「逆戻り」を促す危険性が高い。

小澤勝議員

- ◆ ごみ袋有料化の手数料収入を財源として、資源物回収の回数や拠点整備などごみ行政の充実に充てるべきである。
- ◆ 国が指標(2025年度の1人440g/日)としたごみ搬出量を目標値として、ごみの減量を進めるならば、本来の有料化施策で実施すべきである。

高島洋議員

- ◆ ごみの量は半年ではなく、年間の平均値の正確なデータをもとにして判断していくべき。
- ◆ 45Lの価格のみ議論が進んでいるが、減量を進め、30L、20Lのごみ袋を使用すれば負担が軽減できる。

宮園伸仁議員

- ◆ 尾張東部衛生組合晴丘センターごみ焼却場は、8年後には建設をしなければならない。
- ◆ 焼却場建設は、規模をどうするかが最大の焦点。ごみの排出量削減の延滞は許されない。

採決

第35号議案

可決

| 採決結果 | |
|-------|-----|
| 出席議員数 | 26人 |
| 表決総数 | 25人 |
| 賛成 | 13人 |
| 反対 | 12人 |

賛成 13人 松原、三宅、原、馬嶋、石神、中川、池田、新井、戸田、白井、長江(公)、長江(秀)、浅井

反対 12人 黒柳、颯田、山内、朝井、高島、西本、小澤、高桑、宮園、富田、三木、伊藤

6月定例会の主な議案概要と審査内容

総務生活委員会

第33号議案

瀬戸市公民館の設置及び管理に関する条例の全部改正について

概要 市内公民館の使用時間や料金の上限規定を設け、施設管理や運営を指定管理者に委託できるように改正します。

Q 現在事業運営等をお願いしている各公民館の館長、事務協力員および利用者に対する影響について伺う。

A 指定管理者制度導入後は、館長は会計年度任用職員ではなくなり、事務協力員の雇用主は指定管理者となる。市民の利用については従前の利用方法と変わらないように考えている。



第34号議案

市有財産(建物)の無償譲渡について

概要 旧道泉小学校を民間事業者を活用させるため、その建物を無償で譲渡します。

Q 地域住民への周知および体育館、運動場の住民開放と緊急避難場所としての確保について伺う。

A 地域住民には学校法人SOLAN学園が優先交渉権者となった以降の2月7日に説明会を開催している。工事に着手する前にも周知する予定。体育館、運動場の利活用については、緊急時の避難場所の確保を前提に引き続き地域住民と考えていく。



都市活力委員会

第41号議案

瀬戸蔵条例の一部改正について

概要 瀬戸蔵の駐車場料金を改正します。

Q 瀬戸蔵駐車場における駐車実績と料金改正の効果について伺う。

A 189台の駐車が可能だが、通常は1・2階部分の駐車場で対応ができています。また利用者の方々の半数が1時間以内に出庫している。定額の金額を設定することにより、多くの方に長時間駐車していただき街の回遊を楽しんでいただくことが可能になると考えている。



第42号議案

瀬戸市駐車場条例の一部改正について

概要 パルティセとの駐車場料金を改正します。

Q 打ち切りの料金が夜間のみとなっているがその理由を伺う。

A 昼間においては、市民の方やパルティセの利用者が比較的短時間に利用されている駐車場の状況である中、夜間の利用者は、非常に低い利用率であることから利用の促進を図るために周辺の民営の駐車場の状況も踏まえて夜間を定額制にしている。



厚生文教委員会

第40号議案

瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

概要 家庭的保育事業者等ごとに、安全計画を策定し、乳幼児の移動のために自動車を運行する場合には、所在を確実に把握できることなどを規定するもの。

Q 安全計画の策定が義務付けとなるが、具体的にはどのような計画なのか。

A 安全点検に関することや園児・保護者に対する安全指導、訓練・研修の実施など厚生労働省より示された項目に沿った計画である。

第48・49号議案

水野小学校・幡山東小学校校舎長寿命化改良工事請負契約の締結について

概要 両校の長寿命化改良工事とエレベーター棟等の増築工事に関する工事請負契約を締結するもの。

Q 今回の工事によってどの程度、長寿命化が図れるのか。

A 長寿命化改良工事によって、今後30年間以上使用するものになる。

Q エレベーター設置をしていくことになった経緯と今後について伺う。

A エレベーター設置については、バリアフリー法改正により、学校も対象になってきたことから、長寿命化改良工事を利用しながら、逐次、効果的かつ効率的に進めていきたい。



予算決算委員会

第44号議案

令和5年度瀬戸市一般会計補正予算(第4号)

概要 おもてなしタクシーについて

Q おもてなしタクシー事業は40%引き対応としているがその効果を伺う。

A 尾張瀬戸駅まで迎えに行き、昼食・体験をしていただくタクシーツアーとなっており、参加者アンケートでは97.6%の方が満足と答えられている。瀬戸市民の方が他市の方を誘って参加くださるようになった。



概要 八幡小学校への小中一貫校整備について

Q 八幡小学校に、原山小学校・萩山小学校を統合していくスケジュールを伺う。

A 令和6～7年度の2カ年で、校舎にかかる工事を行い、8年度には3つの小学校を再編した新しい学校を開校する予定である。

Q この事業について団地全体の意見は反映されるのか伺う。

A 児童をはじめ校長などの意見を聞き教育環境の充実を目指す。適宜、必要な情報はお知らせしていく。



6月定例会議案等審議結果

市長提出議案

| 議案番号 | 件名 | 採決結果 |
|------------------|---|------------|
| 第33号議案 | 瀬戸市公民館の設置及び管理に関する条例の全部改正について | 可決(賛成多数) |
| 第34号議案 | 市有財産(建築)の無償譲渡について | 可決(賛成多数) |
| 第35号議案 | 瀬戸市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について | 可決(賛成多数) |
| 第36号議案 | 瀬戸市市税条例の一部改正について | 可決(全会一致) |
| 第37号議案 | し尿処理施設基幹的設備改良工事請負契約の締結について | 可決(全会一致) |
| 第38号議案 | CD-I型消防ポンプ自動車(品野台分団車)の買入れについて | 可決(全会一致) |
| 第39号議案 | 瀬戸市火災予防条例の一部改正について | 可決(全会一致) |
| 第40号議案 | 瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について | 可決(全会一致) |
| 第41号議案 | 瀬戸市歳入条例の一部改正について | 可決(全会一致) |
| 第42号議案 | 瀬戸市駐車場条例の一部改正について | 可決(全会一致) |
| 第43号議案 | 市道路線の認定について | 可決(全会一致) |
| 第44号議案 | 令和5年度瀬戸市一般会計補正予算(第4号) | 修正可決(賛成多数) |
| 第45号議案 | 令和5年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第1号) | 可決(全会一致) |
| 第46号議案 | 瀬戸市個人情報保護法施行条例の一部改正について | 可決(全会一致) |
| 第47号議案 | 瀬戸市職員の給与に関する条例の一部改正について | 可決(賛成多数) |
| 第48号議案 | 水野小学校校舎長寿命化改良・増築(建築)工事請負契約の締結について | 可決(全会一致) |
| 第49号議案 | 幡山東小学校校舎長寿命化改良・増築(建築)工事請負契約の締結について | 可決(全会一致) |
| 第50号議案 | 令和5年度瀬戸市一般会計補正予算(第5号) | 可決(全会一致) |
| 同意第3号 | 瀬戸市副市長の選任について(大森雅之氏) | 同意(全会一致) |
| 同意第4号 | 瀬戸市公平委員会委員の選任について(小池雄三氏) | 同意(全会一致) |
| 同意第5号～ 同意第16号 | 瀬戸市農業委員会委員の任命について(井上俊英氏・小澤早由里氏・加藤卓夫氏・高島八十三氏・長江和春氏・作石正太郎氏・武田晴光氏・藤井義廣氏・矢野洋三氏・伊藤憲昭氏・横道厚子氏・中村征美氏) | 同意(全会一致) |
| 諮問第1号・ 諮問第2号 | 人権擁護委員の推薦について(野田真澄氏・今井順子氏) | 同意(全会一致) |

上記議案のうち賛否の 分かれたもののみ記載

各議員の議案に対する賛否の状況

| 議案番号 | 議員名 | 自民新政クラブ | | | | | | | | | | 公明党 瀬戸市議団 | | 日本共産党 瀬戸市議団 | | 無会派 | 無会派 | 無会派 | 無会派 | 無会派 | 無会派 | 無会派 | 無会派 | 無会派 | | | |
|--------------------|-----|---------|------|-------|------|-----|-----|-----|------|------|------|--------------|-----|----------------|------|-----|-------|------|------|-------|------|------|------|------|-----|------|------|
| | | 黒柳知世 | 颯田季央 | 山内精一郎 | 朝井賢次 | 高島淳 | 西本潤 | 小澤勝 | 宮園伸仁 | 富田宗一 | 柴田利勝 | 三木雪実 | 三宅聡 | 池田信子 | 長江秀幸 | 原誠 | 新井亜由美 | 浅井寿美 | 松原大介 | 馬嶋みゆき | 石神栄治 | 中川昌也 | 高桑茂樹 | 戸田由久 | 白井淳 | 長江公夫 | 伊藤賢二 |
| 第33号議案 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第34号議案 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第35号議案 | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第44号議案 (修正案を含む) | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第47号議案 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

【○】は賛成(採択) 【×】は反対(不採択) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。なお、柴田利勝議員は議長職のため採決には加わりません。

私たちが本市の課題解決に取り組みます!

新体制の委員会が、今後2年間に取り組む主な調査研究事項をご紹介します。

本市で抱える課題などをはじめ、市民の皆さんとの意見交換会である「せとまちトーク」などでいただいたご意見を踏まえて、今後は、専門家のご意見をいただいたり、関係団体との意見交換、他市の先進事例を視察するなどの調査研究を行ってまいります。

総務生活 委員会

- ◆ リサイクル推進によるごみの減量
- ◆ 公共用地跡地の活用
- ◆ ICT活用・DX推進



厚生文教 委員会

- ◆ 不登校支援について
- ◆ 全世代型地域包括ケアシステム



都市活力 委員会

- ◆ 産業振興・観光・まちづくり



議会運営 委員会

- ◆ オンライン委員会



広報部会ニュース

せとまちトーク～市民と議会との意見交換会～

市議会議員が公民館などに出向き、地域の皆さまのご意見を伺い、よりよいまちづくりのための意見交換を行う「せとまちトーク」を、令和5年11月ごろ開催する予定です。

日時や場所、参加方法など詳しくは、決定次第、市ホームページ等でお知らせいたします。

せとまちトーク
11月開催予定



施政方針説明



瀬戸市長
川本 雅之

市長選挙において「市民の皆さまの声をしっかりと市政に反映させ、市民参加のまちづくりを進めること」を掲げ、信任をいただきました。「市民参加のまちづくりを進めていくこと、「まちづくりは人づくり」であること、この2点を胸に刻み、市政運営を担ってまいります。

私たちの暮らしの基本は、「住む」「働く」「学ぶ」「育む」といった要素であり、これらの暮らしの要素が充実したまちを目指し、暮らしの要素ごとに、その魅力向上に向けた施策を展開して

まいります。

具体的な取組として、はじめに「ごみ袋の値上げ凍結」について、一般廃棄物処理手数料を減額し、有料化そのものというよりも、今後のごみ行政のあり方も含めて、市民の皆さまとしっかりと議論していきたいと考えております。

かたよらない市政を実現するため、市民の皆さまの声をしっかりと聴き、市の方針を発信・共有することで、施政方針の内容を着実に、目に見える形で実現してまいります。

代表質問

6月定例会では、3人の議員が会派を代表して代表質問を行い、目指すまちの姿や市政運営についてそれぞれ質問をしました。質問を行った順に各会派2問ずつ主な質問と答弁を紹介します。

ごみ行政のあり方について



自民
新政クラブ
富田 宗一

Q ごみ収集施策は自治法により、各自治体の単独事業として位置づけられている。すでに本市より大幅なごみ減量を達成している尾張旭市や長久手市が有料化を導入しないからといって瀬戸市もしない理由とはならないと考える。愛知県下でも半分の自治体が導入しており減量の成果を上げていると聞いている。

A ごみ減量に対する手法として有料化という仕組みを導入することを否定するものではないと考えている。ゴミ減量に対する関心が高まっている現時点において、一旦、立ち止まって、今後のゴミの排出量の推移を検証したうえで、手数料の見直し等の検討を進めていきたいと考えている。

目指すまちの姿について

Q 市長は「市民参加のまちづくり」を掲げているが、その考えの実相を明確にし、これまでの市政の在り方とどう違いをだしていくのか。

A 「市民参加のまちづくり」を進めるにあたっては、市民の皆さまの市政に対する意識・関心をこれまで以上に高めることが重要であり、地域やまちの課題を「自分ごと」として捉えていただく必要があると考えています。まずは、本市の現状や考えをしっかりと発信・共有することを改めて徹底し、その上で市民の皆さまの声をしっかりと聴く、市民と市の双方向の情報共有を図りながら、まちづくりを進めてまいります。

自衛隊に対する市内18歳若者の個人情報提供はやめるべき



日本共産党
瀬戸市議員
浅井 寿美

Q これまで自衛隊への情報提供は、住民基本台帳の閲覧および書き写しとしてきたが、今年度は自衛隊の依頼を受け18歳男女1,172人の個人情報を5月25日にメール送信したと聞いている。住民基本台帳法にも、瀬戸市子どもの権利条例にも抵触すると思う。自治体自らが、本人の同意もなく18歳の若者の個人情報を自衛隊に提供することはやめるべき。また、情報提供を望まない場合は除外申請を受け付けるべき。

A 法令に基づく適正な情報提供と考えています。情報提供の除外申請については近隣市町の状況を踏まえて検討します。

子育て支援の拡充として、学校給食費の無償化を

Q 所得が上がらない中、子育て世代は、高い教育費が家計を圧迫し、さらに物価高騰が追い打ちをかけている。愛知県内では学校給食費無償化に踏み出す自治体が増えている。完全無償化の2自治体を含む恒常的な補助は県内で23自治体におよび、さらに臨時交付金を活用した期間限定、半額補助、第3子以降無料、公立保育園の主食費無償などの取組みが急速に増えている。市長は学校給食費の段階的無償化を選挙公約とされたが、今後の無償化のスケジュール等について伺う。

A 給食費無償化については、国の政策と歩調を合わせながら進めていきます。

ごみ減量に関する市民への周知等について



公明党
瀬戸市議員
長江 秀幸

Q 「ごみ袋の値上げ凍結」について、「有料化については、ごみの減量を主たる目的として検討が始まったが、こうした背景やこれまでの経緯について、市民の皆さまにもっと深く理解していただく必要があったと考えている」と述べられたが、今後どのように市民への周知及び議論をしていくのか伺う。

A ごみ処理費用の有料化に伴う市民のごみ減量に対する関心の高まりを受けて、この機会に改めて、市民にごみ減量に関する課題を共有し、一緒に考えていくためのごみ減量に向けた説明や啓発を行い、意識改革と行動変容につなげていきたい。

真に効果のある障害者施策について

Q 真に効果のある障害者施策については、引き続き障害者に寄り添う姿勢を堅持するとともに、全庁を挙げて事業実施に取り組んでいくということでのよいのか伺う。また、先の市長選挙で障害者手当の復活を訴えられたが、改めて見解を伺う。

A 本市が令和3年度から各部連携にて、障害者福祉の増進に取り組んできた大切な施策であるので、引き続き事業実施に取り組んでいく。障害者手当の復活については、施策の見直し、充実を進める中で、その一つに位置付けて、新たな施策として望ましいあり方を検討していきます。

一般質問

市の行政課題などについて11人の議員が考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

保育所の入所基準の見直し及び子ども・子育て支援策について



無会派
中川 昌也

Q 保育所入所基準を、父と母の低い点数を基準とするルールから、父と母の合計値を基準とするルールに変更すべきと考えるが見解を伺う。また、待機児童対策として、送迎保育ステーションを設置し、指定の保育所へ送迎する事業実施の可能性について伺う。

A 保育所入所基準は現行ルールが適正であると認識しているが、様々な状況に応じて入所指数などの見直しを適宜行っていく。保育送迎ステーションは待機児童対策に寄与する支援策の一つと捉えているが、安全性、継続性、費用対効果の面で課題があるものと認識している。(保育課)

子宮頸がん予防ワクチンの個別通知について



無会派
馬嶋 みゆき

Q 今年度から9価ワクチンが新たに公費対象となった。本市では一部の対象者のみに情報が提供され、限定的な案内に留まっている状況にある。このことは公平性が保たれず、対象者にとっては検討・判断の機会や選択の幅が狭められ、不利益に繋がると考える。今年度、未案内の対象者へ最新のワクチン情報を個別案内すべきと考えるが見解を伺う。

A 個別通知による案内はワクチンの有効性と安全性を未接種の対象者にもれなく周知するために効果的な方法であると理解しているため、予算の確保を含めて早期の実施に向けた検討を進めている。(健康課)

全世代型地域包括ケアシステムの構築と介護現場の処遇・業務改善



自民
新政クラブ
堀田 季央

Q 全世代型地域包括ケアシステムの構築は高齢者に関わらず、若い世代が地域のイベント等を通じ、関係性を構築することが重要となる。人口減少による担い手不足が深刻化する前の対策について伺う。また、高齢者の増加に伴い、システムの窓口である地域包括支援センターの業務量が逼迫(ひっぱく)、介護認定の遅延が起きている事についての対応を伺う。

A システム拡張に向け、担当職員を配置、全庁的な検討をする。センターの委託料を勘案、事務作業の簡素化、労働環境を注視する。介護認定調査員を増員、ケアマネジャーへ委託して期間短縮を検討する。(高齢者福祉課)



水泳授業のあり方について



池田 信子
公明党
瀬戸市議団



Q 児童生徒のためを一番に考えることが最重要である。民間プールを利用した水泳授業の委託等や、中学校ごとのプール施設を活用する等、どのように捉えているのか。水泳授業のあり方も変化している。柔軟な対応が求められると考える。どう検討を進め方向性を示していくのか伺う。

A 小中学校プールについては、それぞれの立地環境が異なっていることから、現時点では、すべて一律の方向性を示すことは困難であると考えている。今後も学校、地域ごとに保護者、子どもたちの意見を聞きながら、他市の事例も参考にしつつ検討を進めていく。(教育政策課)

瀬戸にあるものを活かす～青の広場編～



松原 大介
無党派



Q 年間10日間ほどの活用実績である青の広場の今後の活用については、本市の政策との整合性がとれているかが重要ではないか。また、管理要綱には捉われず、柔軟な思考によって、これからの使われ方や在り方について議論がされるべきではないか。

A 道路予定地である青の広場の利用については、青の広場の管理に関する要綱を定め、適切に管理運営している。本市の政策の実現に向け、中心市街地の賑わいや活性化に資するイベントでの利用がより進むよう、要綱改正も含めて検討していく。(用地課)

中心市街地の活性化及び「青の広場」の活用について



高島 淳
自民
新政クラブ



Q 中心市街地の活性化を見ずして、銀座通り商店街横の「青の広場」を有効に活用することが望まれる。イベント時のみだけでなく普段からも駐車場など車両が入れるようになれば活用の幅が広がり、活性化につながると考えるが「青の広場」活用方針について伺う。

A 道路予定地として取得した「青の広場」であるが、周辺の公共施設の状況から、駐車場として整備することは考えていない。しかしながら、今後も中心市街地の賑わいや活性化に資するイベントで利用していただき、商店街の活性化に繋がりたいと考える。(建設課)

小規模特認校(掛川・品野台小学校)を子どもの学びの選択肢に



新井 亜由美
日本共産党
瀬戸市議団



Q 小規模特認校はどのような学校なのか、制度改正で期待できる効果を伺う。また、通学希望時の申込期限を、前年度の8月中旬よりも他の自治体のように後ろにずらすことで検討の余裕ができて、選択の幅を広げると考えるが見解を伺う。

A 小人数で特色ある教育を行い瀬戸市全域から通学できる学校で、掛川小学校では令和6年度からどの学年の児童でも校区外から通学できるよう変更する。児童や保護者の新たな選択肢となり児童数増加で小学校や地域に活気が生まれることを期待している。やむを得ず期限間に合わない場合も柔軟な対応をしている。(学校教育課)

メガソーラー建設が原因で蛇ヶ洞浄水場の損害補償はどうなるのか



白井 淳
無党派



Q 昨年7月6日からの大雨により、蛇ヶ洞川に濁水が流れ、浄水場が使えなくなった状況の説明と、市は元請業者に対し、損害賠償について、県水受水費・薬品費等と天日乾燥池浚渫(しゅんせつ)、汚泥処分費を含めてどの位の賠償額になるのか伺う。

A 当時の状況として、工事中の雨水を貯水する仮設の沈砂池の堰堤(えんてい)が崩れ、蛇ヶ洞川に流入し、浄水場での浄水が一時的に不能となった。また、賠償額としては、県水受水費、薬品費及び動力費で約410万円、天日乾燥池浚渫(しゅんせつ)費約154万円、汚泥処分費は概算で約225万円、賠償合計額は約789万円と考えている。(浄水場管理事務所)

訪問型育児支援の拡充について



黒柳 知世
自民
新政クラブ



Q 本市の訪問型育児支援のひとつである「ママサポーター派遣事業」について、子育てしやすい街に向けて、多くの方に利用していただけるよう対象者や期間など拡充が必要ではないかと考えるが本市の見解を伺う。また、県が推進している家庭訪問型育児支援「ホームスタート」事業の取り組みを本市でも開始したらどうか考えるが市の見解を伺う。

A ママサポーター派遣事業は特定の要件に該当する方に対する支援として、必要な方にご利用いただいている。「ホームスタート」事業は、事例を研究し、本市の子育て支援の質の向上につなげたい。(健康課・こども未来課)

発達性読み書き障害(ディスレクシア)について



三宅 聡
公明党
瀬戸市議団



Q 「どうして自分だけが、読み書きが苦手なのか?」と思い悩むディスレクシアの疑いのある児童生徒をより早期に発見できるよう取り組むことが必要と考える。現在、小中学校ではどのような取り組みがなされているのか伺う。

A 普段の学習活動の中で、読み書きに限定した困難さを抱えている児童生徒について、担任や教科担任が確認した場合は、特別支援教育校内委員会で情報を共有し、対象となる児童生徒を把握することに努め、速やかで適切な支援に取り組んでいる。(学校教育課)

インボイス制度は市内の事業者にもどのような影響を与えるのか



原 誠
日本共産党
瀬戸市議団



Q 山梨県の道の駅でインボイス登録をしない農家を取引から排除する動きがみられたが、道の駅瀬戸しなのではどう対応するのか。また、インボイス登録をしない農家に対して今後も取引を継続させていくべきだと考えるが今後の方針はどのようなか。

A 道の駅瀬戸しなのでは、生産者が利用料金を指定管理者に支払うことになっているので、生産者と消費者へのインボイス制度の影響はないと考える。また、インボイス登録の有無を理由に生産者が排除されるようなことはない。(産業政策課)

テレビ番組



グリーンシティケーブルテレビ 「こんにちは! 瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

6月定例会の番組内容は
①新議長・副議長の紹介
②新たなメンバーで構成された委員会活動
③5月臨時会・6月定例会の結果報告についてお送りしました。

番組がご覧
になれます。



9月定例会放送予定 10月23日(月)～10月29日(日)

放送時間

7:10～、9:10～、12:10～
14:10～、18:10～、22:10～

※放送時間が変更となる場合があります。
詳しくはグリーンシティケーブルテレビから配布される番組表をご覧ください。



ラジオ番組



RADIO SANQ 「せとまちらジオ」(FM84.5MHz)

放送の前半は定例会のお知らせ、後半では瀬戸市の未来像について議員が語るコーナーもあります。どんな思いが語られるのかどうぞお楽しみに。

9月定例会放送予定 8月29日(火)、10月10日(火)

放送時間 9:20～、12:30～、18:00～

RADIO SANQホームページから過去の放送分もお聴きいただけます。



傍聴



傍聴をご希望の方は、北庁舎5階の議会事務局にお越しください。



インターネット中継

会議の様子をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマート
フォン・
タブレット
でも!



9月定例会開催予定

- 8月29日(火) 本会議(開会・議案上程・説明)
- 9月 1日(金) 本会議(一般質問)
- 4日(月) 本会議(一般質問)
- 5日(火) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託) 予算決算委員会
- 7日(木) 総務生活委員会
予算決算委員会総務生活分科会
- 8日(金) 厚生文教委員会
予算決算委員会厚生文教分科会
- 11日(月) 都市活力委員会
予算決算委員会都市活力分科会
- 15日(金) 予算決算委員会、議会運営委員会
- 20日(水) 議会運営委員会
- 21日(木) 本会議
(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時からの開催予定ですが、日程が変更される場合がありますのでご確認ください。
※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。
※請願・陳情の提出締切日は、8月17日(木)の午後5時です。

編集後記

- 改選後初めての定例会ということで、今回の表紙は、第24期の議員の集合写真としました。どうぞよろしくお願いいたします。
- さて、6月議会は市民のみなさんの大きな関心事となっている「ごみ袋値上げの凍結案」が審査されましたので、議会だよりでも特集記事を掲載しました。活発な議論、審査の様子、結論に向かう経過をできるだけわかりやすく伝えようと試みましたが、いかがでしょうか。市民のみなさんの率直なご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

ご意見・ご感想はこちらから



問合せ先/議会事務局 議事課 ☎88・2740

E-mail▶giji@city.seto.lg.jp

編集・発行/瀬戸市議会 〒489-8701 瀬戸市追分町64-1

瀬戸市議会ホームページ
SNS、YouTubeをチェック!



アプリでも議会だよりをチェック!



Catalog Pocket マチイロ